

# 非開削1日で更生

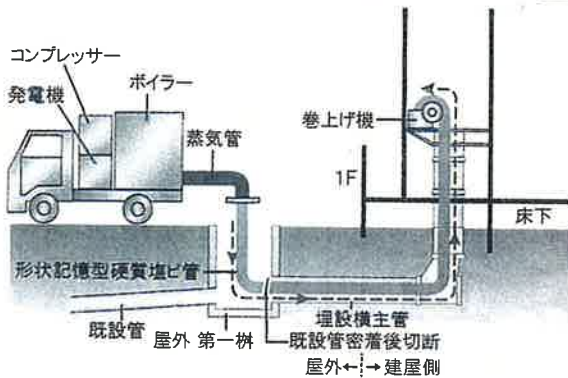
## 90度曲がり、穴あきに対応

### 積水化学、いずみテクノス

積水化学工業と、いずみテクノス(本社・東京都杉並区、中間太藪社長)は22日、両社

が共同開発した、形状記憶型硬質塩化ビニル管(リノベライナー)

イナシ)による排水横主管更生のリノベライナー工法のデモ施工を公開した。開削工事せず老朽化した排水管の中にリノベライナー



リノベライナー工法のイメージ

を挿入し、加熱・冷却とエアなどにより、塩ビ管を新たな更生管にする技術で、雨の中で行われた径100ミ、長さ約10分の施工では、90度、45度の曲がりそれぞれ2カ所設定しながら、高品質の仕上がりを見せた。中間社長は「(千葉県)成田

90度と45度の曲がりを設定しながら高品質を実現



市、つくば市の物件で引き合があり、コストは既存の排水管取替工法の約50%を旨指す」とした。

いずみテクノスは、住宅設備機器業の小泉(長坂絃司社長)の子会社で、積水化学工業が材料、同社が施工性を主に分担して開発した。いずみテクノスは、共同開発のリノベライナー工法に、同社独自の「吸引工法」「吸引ヒグ工法」を組み合わせ、「モバイル・ハイブリッド工法Ⅱ」として売り込む。

横浜市内のいずみテクノス技術研究所内で公開されたリノベライナー工法は、建物内に設置したウインチで下流側から挿入した軟らかな塩ビ管(約80度で加熱)を既設管内に引き込み、さらに蒸気注入して摂氏90度から80度に加熱させて膨らまた上でエアを

切り替え、30度まで冷却させ既設管に密着させて固化する。建物内の管とはMD継手で接続させる。

これらの施工にはボイラーユニット、ウインチ、計測装置、先端ガイド・管端栓などの機器が必要だが、4ト車1台に積載できるといふ。デモ施工で立証したように90度、45度の曲がりにもシワなく対応でき、既設管の穴、クラック、部分欠落でも施工可能だ。新設のリノベライナーは50年の耐用年数を持つという。

100ミ、125ミ径の管渠サイズ、延長15分まで可能としている。非開削で、しかも1日で施工でき、工場製品

で品質に優れ、コストも既存工法の5割を目標とするとい